

農作物生育・技術情報8号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1 水稲 中苗:ななつぼし

収穫時期が遅くなると未熟粒は減りますが、胴割れや茶米が増え品質の低下を招きます。特に、今年は穂揃性が悪く、登熟ムラを生じる可能性があります。地域の適期刈り講習会に参加し、玄米判定で的確に収穫時期を見極めましょう。

生育状況 (9/1現在)			〈技術対策〉
項目	30年	平年	
稈長	69.0cm	79.8cm	<ul style="list-style-type: none"> ・降雨などで水が滞水している場合は、速やかに排水対策を行い、土壌表面を乾燥させる。 ・倒伏しているところや、登熟が遅れている稲は、他の稲と一緒に収穫すると品質低下を招くので別刈りをする。 ・いもち病が見られた水田は、発生した部分を別刈りし、ほ場から搬出する。
穂長	16.6cm	18.0cm	
m ² 穂数	411本	550本	
籾黄化率	5%	23%	
成熟期	—	9月17日	
生育の遅速	-5	—	

2 主要野菜

作物名	生育状況	技術対策
トマト	<ul style="list-style-type: none"> ・5月定植で7段目、6月定植で3～4段目を収穫中。 ・灰色かび病、うどんこ病、葉かび病、萎凋病、かいよう病が発生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・裂果防止のため、最低気温が12℃を下回る場合は早めにハウスを閉める。 ・土壌還元消毒実施時期は9月上旬までとする。
きゅうり	<ul style="list-style-type: none"> ・8月中旬から収穫開始。 ・親づるを摘心し、子づる10節目に着果している。 ・べと病・うどんこ病の発生が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・べと病防除は、発生に応じて予防効果の高い薬剤と治療効果を伴う薬剤を使い分け、防除効果を高める。
ハウス軟白ねぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・5月定植収穫中。 ・アザミウマ類、ハモグリバエ類、タマネギバエ類、萎凋病が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・萎凋病が多発したハウスは計画的に土壌消毒を行う。
アスパラガス(ハウス立茎)	<ul style="list-style-type: none"> ・灰色かび病、斑点病の発生が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウス内外の除草を徹底する。 ・追肥は9月中旬を最終施用とし、収穫終了後の過度な生育を防止する。

※日高管内でネギアザミウマに対する合成ピレスロイド系薬剤の抵抗性が確認されました。今後は合成ピレスロイド系薬剤の連用を避け、ローテーション防除を行いましょう。

3 畑作

- (1) 秋まき小麦 品種：ゆめちから
 適期は種を心がけ、越冬前の生育を十分確保しましょう。
 【越冬前目標生育量】葉数6枚以上、莖数1,000本/m²

は種時期	は種量(10aあたり)	基肥(10aあたり)
9月13～16日(適期)	8kg～9kg	・窒素:4kg ・リン酸:14kg ・カリ:10kg
9月17～20日	10kg～11kg	

注)土質は火山性土

* 遅まきは、越冬性・起生期の分けつが劣るので注意する

(2) 馬鈴しょ

- ① 茎葉枯凋後、土中に長くおくと黒あざ病菌核が付着し商品価値を低下させます。茎葉処理2週間後を目安に収穫を開始しましょう。
- ② 収穫作業は気温10℃以上の暖かい日に行い、収穫後は涼しいところに貯蔵しいものの温度を下げましょう
- ③ 降雨の影響を受けているほ場では、特にほ場での一時選別を丁寧に行い、製品率向上を目指しましょう。

4 畜産

(1) 牧草生育状況(9月1日現在)

作物名	生育状況			遅速 日数	備考
	項目	30年	平年		
牧草(苜蓿)	草丈(2番草)	72.6m	78.0cm	-4	2番草の生育は遅れている

※2番草の刈取時期はチモシー草地は一番草刈取後、40日～50日です。オーチャード草地は、同30日～40日です。オーチャードは、年3回利用しなければ(刈り遅れると)嗜好性が低下します。

(2) サイレージ用とうもろこし生育状況(9月1日現在)

作物名	生育状況			生育期節	遅速 日数	備考
	項目	30年	平年			
サイレージ用とうもろこし	葉数	18.5枚	18.1枚	乳熟期 10%	-7	気温が低いため、登熟が遅れている
	稈長	221.9cm	283.9cm			

※熟期を確認しましょう。 平年値(乳熟期:8/28、糊熟期:9/10、黄熟期:9/25)

今年は乳熟期が7日遅れで推移しています。ほ場・品種により登熟進度が違いますので、雌穂を確認して黄熟期まで登熟を進めましょう。

5 農作業安全対策

余裕を持った作業計画で、事故防止に努めましょう!
 作業予定を事前に確認しあい、適正な労働配分を考慮しましょう!

収穫作業に備え、機械の点検整備を行いましょう!!